

		チェック項目	はい	どちらとも いえな い	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			1階：指導訓練室35.66㎡ 2階：多目的支援室 44.79㎡ 3階：事務所・相談室44.79㎡ トイレ各階5㎡
	2	職員の配置数は適切であるか	✓			児童発達支援管理責任者1名 管理者・児童指導員1名 保育士1名 教員・児童指導員2名 児童指導員3名 ※令和4年3月～ 看護師1名 その他の指導員2名 事業所内看護師資格ありのもの3名在籍
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		✓		指導訓練室：京都市建築物のバリアフリーの促進に関する条例第6条第4項の規定による検査を受け、適合検査済です。 ※事務室はバックヤード 職員：1階の段差をなくしたい。 今年点字ブロックを直せて良かった。 密防止にお借りした2階のトイレをスライドドア、手すりを設置した。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	✓			スタッフ1名が、受け持ち児童3～4名。担当制で自立課題やコグトレを設定。日々支援前後で日案の確認とともに、コグトレや自立課題について意見交換や、見る視点の共有を行い支援に入ります。日々の個別記録をもとに、参可可能なスタッフで、成長の過程や背景、関りを計画に沿って振り返り、目標設定の見直しを行っています。（個別支援会議。半年に1回全児童実施。）各自の仕事をチェックリストで見える化して、業務改善を行った。

提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			アセスメントⅠ・Ⅱを活用。子どもたちとの関りを通して得た情報を、一般発達検査表や感覚統合のツールを参考に分析し、見立て療育方針を立てている。発達検査結果に基づきアセスメントしています。
適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			主に常勤・非常勤務者関わらず、皆で子どもたちについて日々検討し、自立課題を作成・準備し、活動内容の決定、日案作成をしています。日案の担当は常勤で曜日ごとに分担。祝日イベントは毎月会議で決めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		✓		個々の目標に沿って自立課題を行っています。基礎感覚を刺激する遊びで子どもたちの能力に合わせて確実にでき、自信がつく内容で集団療育を行っています。遊びや共同制作なども行いチームワーク、対話力の向上も図れるようプログラムに組み込んでいます。「遊びの目当ては何か」スタッフ間で協議しながら考えて実施しています。固定化しないよういくつか種類を用意していますが、力が定着できるように飽きないように工夫しつつ、同じ内容を継続する場合もあります。頑張った後の自由遊びは壁に掲示した写真など視覚支援で自己選択しやすいようにしています。日曜日の余暇活動支援も始まり、農地体験、ものづくり、買い物学習、個別調理実習など行っている。簡単な調理行程にし、急な保護者の体調不良やお留守番などがあっても自力でご飯がたべられるように、基本のメニューで繰り返し学習中。卵を割る、米を炊く、メモリの意味がわからなくても水の分量を間違えない方法も実践で学習してもらった。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		✓		平日休日問わず、プログラムを決めて活動しています。保育士・教員・看護師等他職種で意見交換をしつつ、日々意味のある療育活動になるよう工夫をしたプログラムを作成しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			アセスメントツールを利用して、スタッフ間で検討し、子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しています。モニタリング以降次のモニタリングまでの期間で新たに生じた課題についてできるだけミーティング等で共有するが、解釈違いや、出勤していなかったものに伝達共有できていないことがありました。改善策として、全児童が一覧になっているトピックスを作成し、終業時にメモして共有することにしました。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	✓		園からの情報提供書を確認し、必要に応じて訪問または電話連絡をして指導方法や経過について情報共有と相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	✓		ガジュマルを卒業し、他の事業所や他のサービスへ移行される方は、直近のモニタリング記録と引き継ぎ書を作成し交付しています。今年は対象者がいませんでした。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓		必要時行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		✓	現在は新型コロナウイルス感染症の兼ね合いで行っていません。近隣に住むお子様をはじめ地域の方々をご招待して夏祭り等できれば良いと考えますが、個人情報の観点でどうか、保護者様のご意見等伺いつつ、誰にとっても良い形で交流できる方法を見つけて行きたいと思います。マスク着用での野外あそびはR4年は実行できればと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		✓	(地域自立支援)協議会等へ出来る限りで参加の方針ですが、感染症の流行に伴い、いけない場合がある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合うようにしています。子どもの発達の状況や課題についても共通理解を持てるよう努めています。お忙しいご世帯もあるので、LINE等も活用しています。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			✓	現在は新型コロナウイルス感染症の兼ね合いで行っていません。近隣に住むお子様をはじめ地域の方々をご招待して夏祭り等できれば良いと考えますが、個人情報の観点でどうなのか、保護者様のご意見等伺いつつ、誰にとっても良い形で交流できる方法を見つけて行きたいと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			HPでPDF化して掲載しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			避難訓練、引き渡し訓練等防災訓練は年4回実施しています。HPにてご確認ください。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			施設内研修：「障がい者虐待防止法の理解と対応」を毎年行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			✓	対象児童がない為ありません。
非常時等の対応	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			✓	卵乳製品禁 個々に対応させて頂いています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			管理日誌に記録欄があり、いつでも閲覧できるようにしています。